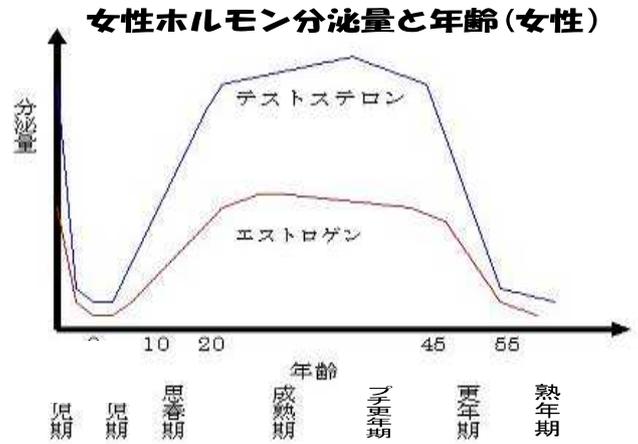


女性の一生といろいろな女性病

女性の身体には、赤ちゃんを授かり、育んでいく為の女性ホルモンが大きく関与しています。この大切な女性ホルモンは、いろんな意味で女性の身体をしっかりと守ってくれています。右のグラフのように女性ホルモンは年齢とともに変化していき、これにともなって女性の体調も変化していきます。それでは女性の一生と女性病を女性ホルモンの状態によって分類して考えてみましょう。



【女性の一生】

思春期・・・ホルモンの分泌量が急増し不安定な時期。
成熟期・・・ホルモンバランスが整って一番安定している時期。
子育期・・・早めに現れる更年期と同じ症状がでる時期。
更年期・・・急激にホルモンの分泌が減少する時期。
熟年期・・・ホルモンの減少に身体が慣れてきた時期。

① 思春期

女性ホルモンの分泌が急増し、まだ安定していませんが、女性の身体を作る一番大切な時期です。この時期の苦情の多くは「生理不順」や「生理痛」などです。女性としての身体を、まだ自分のこととして捉えていない場合が多く、お腹や足を冷やしてはいけないという自覚を持つことが大切です。この時期から自分の身体を作る最高の材料「バイオリック」と「初潮からおばあちゃんまでの漢方」エッキをおすすめします！

② 成熟期

ホルモンのバランスが整って一番安定している時期。20代前半からグッと増え30代半ばにかけてピークになります。妊娠・出産に適している時期ですが、だからこそ女性ホルモンに振り回される時期でもあります。表面に現れる様々なトラブルにうまく対処していく必要があります。

③ 子育期

ホルモンの分泌のピークが過ぎて少しずつ老化がスタートしてきます。閉経への準備段階も気になりますが、早く異変の現れる人と、全く身体の変化のない人に分かれてくる時期です。子育て、多忙な仕事、人間関係、介護の疲れなどのストレスが原因でホルモン分泌量が低下し起こります。

④ 更年期

加齢などで卵巣機能が低下し、卵巣が脳からの指示どおりにホルモンを分泌出来ないため、月経周期が乱れたり、経血量が変化します。その対応に脳が戸惑い「自律神経を整える作用」の余裕が出来なくなり、不定愁訴といわれる苦情が出てきます。また、ホルモンの減少により、肌や髪にも影響が起こり、さらに動脈硬化や骨粗しょう症なども起こりやすくなります。

⑤ 熟年期

やっと更年期が過ぎたとホッとしていませんか？実はホルモンの減少に身体が慣れてただけで、本当の更年期はこれからです。この年代に起こる様々な症状には、骨密度の低下、尿失禁など若い頃はホルモンに守られていた皮膚や粘膜や骨、脳などに一気に様々な症状が出てきます。

【いろいろな女性病】

女性ホルモンが乱れると、身体の機能に影響が及び、中でも血行(血液の状態、流れ)は悪影響を受けます。昔から「血の道症」や「婦人病」と呼ばれてきました。近頃は若い女性も含める意味で「女性病」という言葉も使われています。



①生理不順

一般的に生理の周期は25～38日、持続日数が3～7日の間で、毎回ほぼ同じ周期・日数で起こります。この周期が乱れたりと一定しない場合を生理不順と言います。とくに3ヶ月以上生理が無い場合には、卵巣の働きが衰えている可能性があります。また、生理以外の出血がある場合は、子宮に何らかの異常が考えられます。

②生理痛

生理で出血が続く期間は3～7日で、通常はその間に激しい痛みが起こることはありません。痛みの原因としては、骨盤内の血行が悪くなっていることが挙げられます。生理の時に「プロスタグランジン」という筋肉や血管を収縮させて痛みを起こす物質が出されます、血行が悪いとこの「プロスタグランジン」が長く留まってしま



うので痛みを起こしやすくなります。また、子宮内膜症や子宮筋腫などの病気が隠れている可能性もあります。

③冷え症

冷え性は、血行が悪くなったり、体温を調整する自律神経の働きが乱れるなどによって起こり、更年期の時期や寒い時期に多く発生します。

手・足・腰などを特に冷たく感じ、耐え難い場合を冷え症と言います。

部位は腰部が最も多く、ついで足部が多いと言われます。

冷え症は血行障害が大きな原因ですがその誘因は自律神経やホルモン機能の乱れと考えられます。



④更年期障害

更年期は閉経をはさんだ前後5年程度、個人差はありますが45歳～55歳くらいまでのおよそ10年間を言います。疲労感、頭痛、肩こり、のぼせ、冷え、異常発汗といった身体的な症状から、イライラ、憂うつ感、不安感、集中力の低下など精神的な症状まで、さまざまな症状が起こります。

一般的には更年期に入ると始め生理の周期が短くなり、その後徐々に長くなって閉経に至ります。また最近では、20歳代～30歳代の若い女性にも同じ症状が見られるケースが増えています。これは「若年性更年期」と呼ばれ、疲労やストレス、無理なダイエットで卵巣の働きが低下することが原因です。



【妊娠・出産】



元気な赤ちゃんを授かる為には、「冷え体質」にならないような身体作りが心掛け、自分の身体の正常なホルモンバランスを作っていく、精巣や卵巣の働きを正常に保つことが大切です。ベースとなる体を作る最良の材料「バイオリック」、血流を調える「エッキ・人参」またしっかりした妊娠を継続する為に「パナパール」がおすすめです。

毎日生まれ変わる
細胞の最良の材料



バイオリック粒
1ヶ月分 9660円

女性の血流・ホルモン
バランスを整えて女性
の「つらい病」を改善



エッキ錠
1ヶ月分 6300円

血液をきれいにして
身体を温めます



おたね人参
30包入り 9975円

体力アップ！
元気な身体を
作ります！



パナパール
150カプセル 6510円

<p>生理痛</p>  <p>鎮痛剤要注意！ 生理痛がひどくて、生理のおひび鎮痛剤を飲まなければならぬ。曇鬱な日々です。 でも、健康な女性には生理痛はないのです。</p>	<p>生理不順</p>  <p>正常な人は、生理は1ヶ月前後の日数で、ほぼ一定の間隔が保たれています。 不順な人は、2、3ヶ月に1回あったり、なかつたりと不規則な状態です。</p>	<p>冷え症</p>  <p>「足が冷えて眠れない」 「腰が冷えてカイロを手離せない」 「夏でも冷房のために冷え症は、良くなりません。」 *女性の半数以上が冷えを感じています。</p>	<p>更年期障害</p>  <p>閉経の前後数年間の時期が更年期と呼ばれ、40～50歳代の婦人が含まれます。この時期はホルモンのバランスが崩れやすくなっているため、一時的なきっかけがもとで、色々な不快症状が出てくるのです。</p>	<p>のぼせ</p>  <p>からだがかさつと熱くなる。足は冷えるのに頭の方はほせている。</p>	<p>不眠</p>  <p>眠ろうとしても神経が亢進して眠れない。 寝不足の翌日は疲れが残っていて、何をやるにも力が入らずに神経がいらぶつ。</p>
<p>便秘</p>  <p>自然なお通じは1日1回の快便です。ところが、女性は腹部臓器（子宮、膀胱、腸）が複雑なため便秘になりやすいのです。腹部の血行が悪いと腸の働きも弱くなり便秘がちになります。</p>	<p>肩こり</p>  <p>若いのによく肩がこる。 肩がこりつづくと鎖骨まで痛くなる。肩から首にかけて歪んだようだ。アツマをしてもらってもすぐに肩がこる。</p>	<p>頭痛</p>  <p>痛みだけを消しても、頭痛持ちの身体の方はそのままです。頭痛も貧血やホルモンの異常が原因でもあるのです。</p>	<p>産後・流産後の不調</p>  <p>お産のおと疲れやすくなった。 産後、流産後に貧血するようになった。</p>	<p>貧血・低血圧</p>  <p>女性の貧血者は多く、外見は元気そうでも、血液がうすかたまりするものです。疲れやすく、ものを考えるのも難しく、眠れておさまらないなど、ついついとうとすることも多くなります。</p>	<p>肌あれ</p>  <p>健康でみずみずしいお肌は女性の望みです。しかし、女性ホルモンの分泌不足の人は血液の循環も悪く、しもやけ、あかぎれ、肌あれ、シミ、ソバカスなどの苦痛が出てきます。</p>

女性病～ お助け漢方ラインナップ (1ヶ月分3885円～6930円)



パナパール錠



フラリン I



回血



フッケツ



オンケツ



リキ



フラリンL



チョウケイ



フラリンQ



フラリンA



ホイオー



ホノマリア

不妊（子宝相談）をはじめ、食欲不振、痛み、冷え、むくみ、肌荒れ、貧血、肩こり、不眠、イライラ慢性倦怠感、のぼせ、内膜症、筋腫、慢性膀胱炎

※あらゆる女性病の症状にあわせて選薬しますので一度ご相談下さい！（要予約）

くすりのキュート

玉名店 0968-73-7335
植木店 096-273-2640